

Oracle® Enterprise Data Quality for Product Data

Task Manager リファレンス・ガイド

リリース 5.6.2

部品番号 : B66256-01

2011 年 7 月

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Task Manager リファレンス・ガイド, リリース 5.6.2

部品番号 : B66256-01

Copyright © 2001, 2011 Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Primary Author: Lorna Vallad

This software and related documentation are provided under a license agreement containing restrictions on use and disclosure and are protected by intellectual property laws. Except as expressly permitted in your license agreement or allowed by law, you may not use, copy, reproduce, translate, broadcast, modify, license, transmit, distribute, exhibit, perform, publish, or display any part, in any form, or by any means. Reverse engineering, disassembly, or decompilation of this software, unless required by law for interoperability, is prohibited.

The information contained herein is subject to change without notice and is not warranted to be error-free. If you find any errors, please report them to us in writing.

If this is software or related documentation that is delivered to the U.S. Government or anyone licensing it on behalf of the U.S. Government, the following notice is applicable:

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

This software or hardware is developed for general use in a variety of information management applications. It is not developed or intended for use in any inherently dangerous applications, including applications that may create a risk of personal injury. If you use this software or hardware in dangerous applications, then you shall be responsible to take all appropriate fail-safe, backup, redundancy, and other measures to ensure its safe use. Oracle Corporation and its affiliates disclaim any liability for any damages caused by use of this software or hardware in dangerous applications.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group.

This software or hardware and documentation may provide access to or information on content, products, and services from third parties. Oracle Corporation and its affiliates are not responsible for and expressly disclaim all warranties of any kind with respect to third-party content, products, and services. Oracle Corporation and its affiliates will not be responsible for any loss, costs, or damages incurred due to your access to or use of third-party content, products, or services.

目次

はじめに	iii
ドキュメントのアクセシビリティについて	iv
関連ドキュメント	iv
表記規則	v
1 概要	
タスク・フロー	1-2
ソフトウェアの起動	1-3
クライアント・ワークスペースについて	1-5
フレーム機能	1-6
メニュー・コマンドとツールバー	1-6
「File」メニュー	1-7
「View」メニュー	1-7
「Charts」メニュー	1-8
「Tasks」メニュー	1-8
「Tools」メニュー	1-8
「Help」メニュー	1-9
タブ	1-9
「Users」タブ	1-9
「Tasks」タブ	1-9
タスク・ペイン	1-9
User	1-9
Task	1-9
Task Detail	1-9
2 Task Manager の管理のセットアップ	
ロールの管理	2-2
新規ユーザーの管理	2-3
3 タスクの作成	
出力タブでのタスクの作成	3-2
「AutoSuggest」タブからのタスクの作成	3-4
ダブルクリックによるデータの編集	3-4
ダブルクリックによる選択の切替え	3-5
ソースへの移動	3-5

セルのコピー	3-5
選択した行からのタスクの作成	3-5
Task Manager でのタスクの作成	3-6

4 タスクの管理と処理

タスクの管理	4-2
タスクの表示	4-3
タスクのステータスの変更	4-3
タスクの添付ファイルの確認	4-4
タスクのグラフ化	4-5
傾向別のグラフ作成	4-5
Knowledge Studio の処理	4-7

A クライアント・ソフトウェアのインストール

はじめに

このリファレンス・ガイドでは、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Task Manager の基本機能を説明します。タスクを作成して保守する方法を示します。

このリファレンス・ガイドをご使用になる前に次の Enterprise DQ for Product ドキュメントをご覧になることをお勧めします。

すべての機能を理解するには、iv ページの「[関連ドキュメント](#)」に掲載されている Enterprise DQ for Product ドキュメントとともにこのリファレンス・ガイドも併せてお読みください。

- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Application Studio リファレンス・ガイド
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Knowledge Studio リファレンス・ガイド

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクル社のアクセシビリティへの取組みについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc> を参照してください。

オラクル・サポートへのアクセス

Oracle のお客様は、My Oracle Support にアクセスして電子サポートを受けることができます。詳細は、<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info> または <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs> (聴覚障害者向け) を参照してください。

関連ドキュメント

詳細は、ドキュメント・セットの次のドキュメントを参照してください。

- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Oracle DataLens Server インストール・ガイドには、Oracle DataLens Server の詳細なインストール方法が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Oracle DataLens Server 管理者ガイドには、Oracle DataLens Server のインストールと管理に関する情報が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data COM インタフェース・ガイドには、Oracle DataLens Server COM API のインストール方法と使用方法が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Java インタフェース・ガイドには、Oracle DataLens Server Java API のインストール方法と使用方法が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Application Studio リファレンス・ガイドには、Data Service Applications (DSA) の作成と保守について記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data AutoBuild リファレンス・ガイドには、既存の製品情報とデータ・レンズのナレッジに基づいて最初のデータ・レンズを作成する方法が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Knowledge Studio リファレンス・ガイドには、データ・レンズの実行と保守について記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Governance Studio リファレンス・ガイドには、Data Service Application (DSA) の実行と出力データの分析に関する情報が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data 用語集には、よく使用される Oracle Enterprise Data Quality for Product Data テクノロジーの用語が記載されています。
- Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Services for Excel リファレンス・ガイドには、Microsoft Excel スプレッドシートに含まれるデータに基づいて DSA を作成する方法が記載されています。

このドキュメントおよびすべての関連ドキュメントの最新版は、次に示す Oracle Enterprise Data Quality for Product Data ドキュメントの Web サイトから入手できます。

http://download.oracle.com/docs/cd/E20593_01/index.htm

表記規則

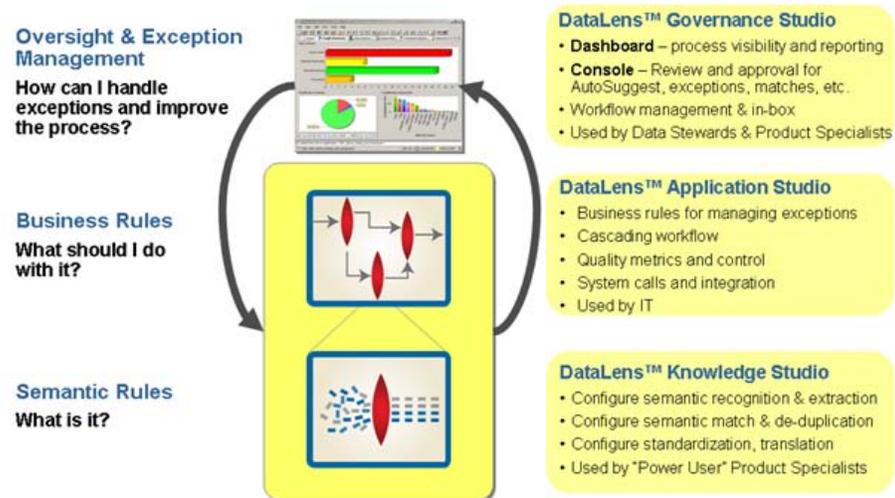
このマニュアルでは次の表記規則を使用します。

表記規則	意味
太字	太字は、操作に関連する Graphical User Interface 要素、または本文中で定義されている用語および用語集に記載されている用語を示します。
イタリック体	イタリックは、ドキュメントのタイトル、強調またはユーザーが特定の値を指定するプレースホルダ変数を示します。
固定幅フォント	固定幅フォントは、段落内のコマンド、URL、サンプル内のコード、画面に表示されるテキスト、入力するテキスト、またはファイル、ディレクトリ、パスの名前を示します。
固定幅フォント	太字の固定幅フォントは、入力するコマンドまたはテキストを示します。

概要

Oracle DataLens Server は、様々なソースおよびシステムからの製品データを標準化、照合、補完および修正する、業界最先端の DataLens™ テクノロジを基に構築されています。DataLens の中核テクノロジには、製品データに特有の変動性の高さに対応するために、一から設計された特許取得済セマンティック・テクノロジが使用されています。

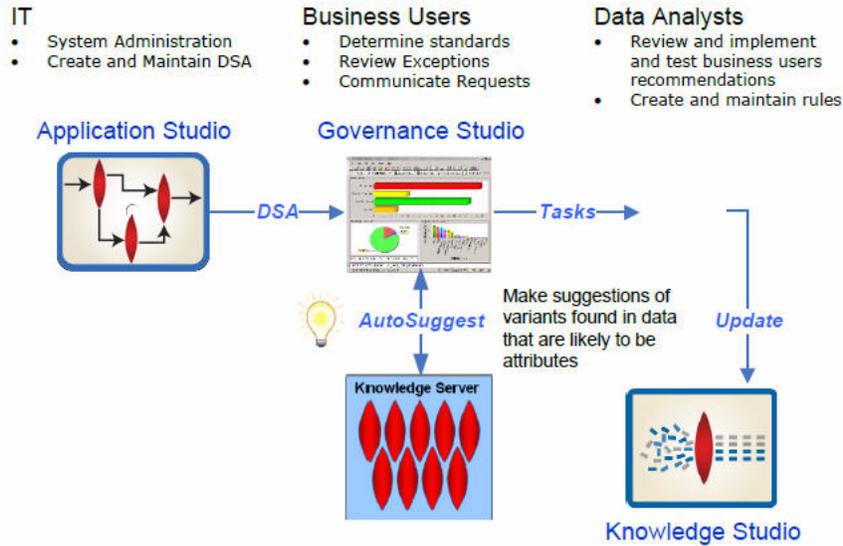
Oracle Enterprise Data Quality for Product Data（以前の Oracle Product Data Quality）では、DataLens の中核テクノロジ・モジュールである Governance Studio、Knowledge Studio および Application Studio が使用されます。次の図は、これらのモジュールのプロセス・フローを示しています。



Task Manager は、Task Manager から生成されたタスクまたはタスク・マネージャから直接生成されたタスクを管理します。Task Manager の AutoSuggest 機能を使用して、既存のデータ・レンズや Data Service Applications (DSA) に対する欠落属性の追加などの変更をデータ・アナリストや IT 担当者に要求するタスクを作成できます。

タスク・フロー

Enterprise DQ for Product (EDQP) は、ナレッジを作成および保守する一連のタスクを編成します。通常は、タスク・フローを管理するために3つのロールが存在します。**ビジネス・ユーザー**は、ビジネス要件に基づくナレッジの構成に対して最終的な責任を持ちます。**データ・アナリスト**は、要件を実装します。**IT** スタッフは、本番アプリケーションでナレッジを使用するための DSA 内のプロセス・フローを作成します。次の図は、Enterprise DQ for Product ナレッジ・プロセスに関連付けられているタスク・フローの概要を示します。



ビジネス・ユーザー（データ・スチュワード）

Task Manager で作業し、例外の処理と、全体的なデータ品質の傾向の確認を行います。

データ・アナリスト

Task Manager を使用して要求を受け取り、Knowledge Studio を使用してデータ・レンズを推奨される変更で更新します。

注意： データ・アナリストは、このドキュメントの例では **TMUser** と示されています。

IT

Task Manager を使用して要求を受け取り、Application Studio を使用してプロセス・フローを変更します。

ソフトウェアの起動

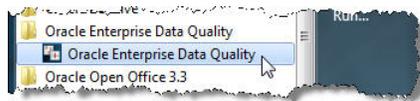
Enterprise DQ for Product は、次のように、デスクトップ・ショートカットまたは Windows の「スタート」メニューを使用して起動できます。

注意： Enterprise DQ for Product がインストールされていない場合は、[付録 A 「クライアント・ソフトウェアのインストール」](#)の手順を使用してインストールできます。

- デスクトップ・ショートカットをダブルクリックします。



- 「スタート」、「プログラム」、「Oracle Enterprise Data Quality for Product Data」の順にクリックし、「Oracle Enterprise Data Quality for Product Data」を選択します。

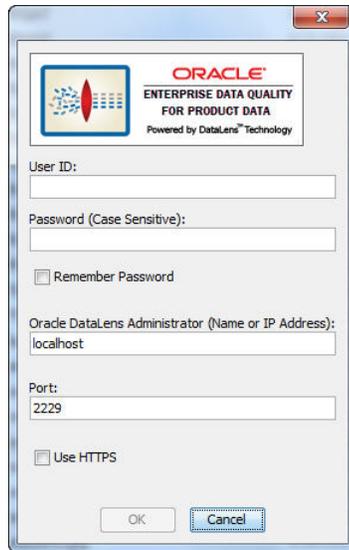


「Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Login」ダイアログ・ボックスが表示されます。



ユーザー名とパスワードを入力します。「Remember Password」チェック・ボックスを選択すると、ログインのたびにパスワードを入力しなくて済みます。

Oracle DataLens Server を変更する場合、または HTTP Secure (HTTPS) を使用する場合は、「Change Server」をクリックします。HTTPS オプションは、アプリケーション・サーバーとして WebLogic を使用して Oracle DataLens Server を実行する場合にのみ動作保証されます。



Oracle DataLens Server を変更するには、Oracle DataLens Administration Server のホスト名または IP アドレスと、ポート番号を入力します。

注意： Oracle DataLens Server が WebLogic Application Server を使用している場合、このポート番号は WebLogic ドメイン・サーバーのポート番号と一致している必要があります。

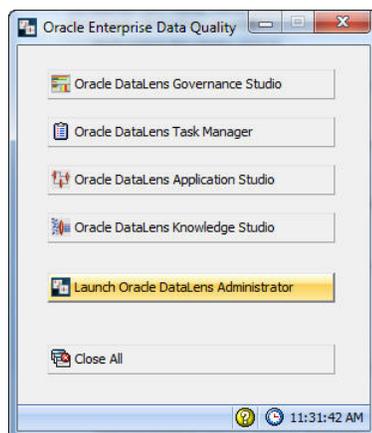
HTTPS を使用して Oracle DataLens Server に接続するには、「Use HTTPS」チェック・ボックスを選択します。

注意： Oracle DataLens Server（および OPDQ トポロジ内の他のすべてのサーバー）を、HTTPS を使用するように構成する必要があります。HTTPS の構成と使用の詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Oracle DataLens Server 管理者ガイドを参照してください。

すべての情報が正しければ、「OK」をクリックします。

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Launch Pad が表示されます。

図 1-1

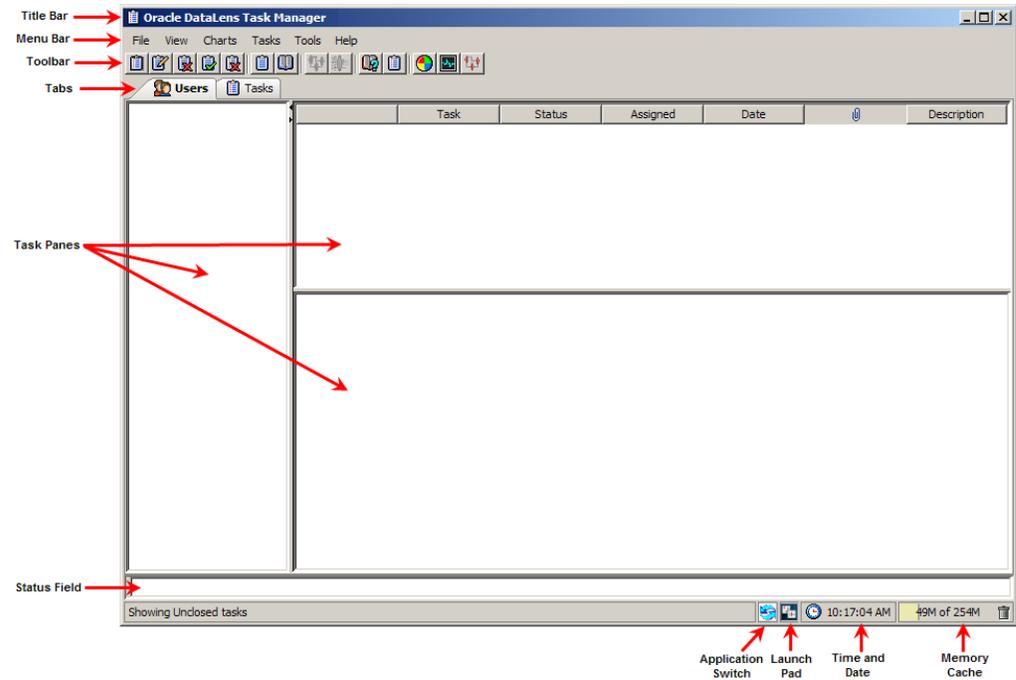


Oracle Enterprise Data Quality for Product Data **Launch Pad** では、ボタンをクリックして Oracle DataLens Server アプリケーションをすばやく起動できます。「Close All」ボタンを使用すると、開いているすべての Enterprise DQ for Product アプリケーションを閉じることができます。

アプリケーションを起動するには「Oracle DataLens Task Manager」ボタンをクリックします。

クライアント・ワークスペースについて

Task Manager のグラフィカル・ユーザー・インタフェース (GUI) では、データ・レンズの作成と管理に使用するクライアント・ワークスペースが提供されています。



ここでは、クライアント・ワークスペースの次の部分について説明します。

- フレーム機能
- メニュー・コマンドとツールバー
- タブ
- タスク・ペイン

フレーム機能

Task Manager クライアント・ワークスペースのフレームには、次のような役に立つ情報と対話機能が含まれます。

タイトル・バー

現在のアプリケーションと開いているプロジェクトを示します。

ステータス・フィールド

プロジェクトのステータスを一度に 1 行で示します。このフィールドのサイズは変更できませんが、右側にあるスクロール矢印を使用して、見ることができるすべてのステータス情報を表示できます。ステータス・データは、選択されているタブに応じて変化するのではなく、すべてのデータをまとめたものです。

アプリケーション・スイッチ

最後に使用した Enterprise DQ for Product アプリケーションに戻ります。

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Launch Pad

このボタンを使用すると Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Launch Pad が開き、他のアプリケーションを選択できます。

時刻と日付

このフィールドの上にマウスを移動すると時刻が表示されます。

メモリー・キャッシュ

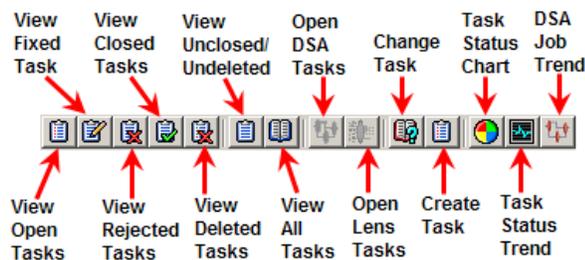
現在使用されているメモリー・キャッシュの量と割り当てられている総量が示されます。この対話形式フィールドのごみ箱アイコンをクリックすると、メモリー・キャッシュをダンプできます。

注意： この機能はシステム診断のためにのみ使用するものであり、オラクル社カスタマ・サポートから要求された場合以外は使用しないでください。

メニュー・コマンドとツールバー

Task Manager のツールバーからは、Task Manager のもっともよく使用する機能に簡単にアクセスできます。ツールバーのボタンのセットは UI 操作の間を通じて変化しませんが、インタフェースとオプション・セットの現在の状態に基づいてボタンが有効または無効になります。グレーの影付きで表示されているボタンは無効です。カラー表示のボタンは有効です。すべてのツールバー・ボタンは標準のプッシュ・ボタンであり、マウスでシングルクリックするとアクティブになります。

次に、ツールバーのボタンについて左から右の順に簡単に説明します。



Task Manager GUI メニューでは、ほとんどの機能へのアクセスが提供されます。ツールバーのすべてのボタンには対応するメニュー・コマンドがあり、各メニューでコマンドの隣に表示されるボタン・アイコンによって示されます。GUI 操作の間を通じて、メニュー・コマンドのセットは変わりません。

メニュー・コマンドは、データ・レンズの現在の状態に応じて有効または無効になります。淡色表示のコマンドは使用できません。一部の複雑な機能を実行するコマンドは、省略記号 (...)

で示されます。このようなコマンドでは、要求された機能を実行するために必要な情報を収集するダイアログ・ボックスが開きます。機能を切り替えるメニュー・コマンドは、前にチェックマーク (ü) が表示されます。

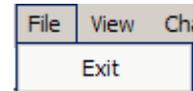
ヒント： メニュー項目、ボタン、タブ、アイコン、その他類似のものにマウス・ポインタをしばらく合わせると、ツールヒントが表示されます。

以下では、Task Manager のメニュー・コマンドとそれに対応するボタンについて簡単に説明します。

「File」メニュー

Exit

Task Manager アプリケーションを終了します。行った変更の保存を確認するメッセージが表示されます。



「View」メニュー

View Open Tasks

すべてのオープンしているタスクを表示します。

View Fixed Tasks

すべての修正済タスクを表示します。

View Rejected Tasks

すべての破棄されたタスクを表示します。

View Closed Tasks

すべてのクローズ済タスクを表示します。

View Deleted Tasks

すべての削除されたタスクを表示します。

View Unclosed/Undeleted Tasks

すべてのクローズおよび削除を取り消されたタスクを表示します。

View All Tasks

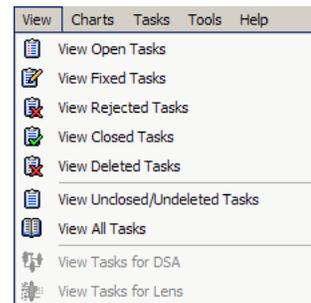
すべてのタスクを表示します。

View Tasks for DSA

DSA のクローズを取り消されたタスクを表示します。

View Tasks for Lens

データ・レンズのクローズを取り消されたタスクを表示します。



「Charts」メニュー

Task Status Chart

ステータス別にすべてのタスクのグラフを表示します。

Open Tasks by User

ユーザー別にすべてのオープンしているタスクのグラフを表示します。

Open Tasks by DSA

DSA 別にすべてのオープンしているタスクのグラフを表示します。

Open Tasks by Lens

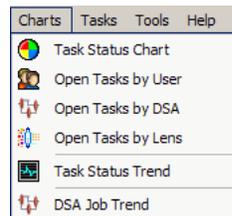
データ・レンズ別にすべてのオープンしているタスクのグラフを表示します。

Task Status Trend

週別のステータス数のトレンド・ラインです。

DSA Job Trend

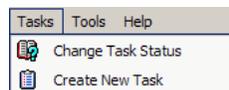
DSA 別のジョブの傾向です。



「Tasks」メニュー

Change Task Status

タスクのステータスを変更したり、タスクを別のユーザーに再割当てします。詳細は、4-3 ページの「[タスクのステータスの変更](#)」を参照してください。



Create New Task

タスクを作成してユーザーに割り当てます。詳細は、3-6 ページの「[Task Manager でのタスクの作成](#)」を参照してください。

「Tools」メニュー

Open Oracle DataLens Task Manager...

Enterprise DQ for Product Task Manager を開始します。詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Task Manager リファレンス・ガイドを参照してください。

Open Oracle DataLens Application Studio...

Enterprise DQ for Product Application Studio を開始します。詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Application Studio リファレンス・ガイドを参照してください。

Open Oracle DataLens Knowledge Studio...

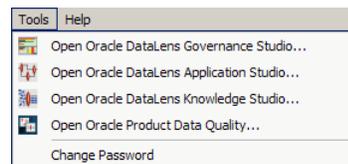
Enterprise DQ for Product Knowledge Studio を開始します。詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Knowledge Studio リファレンス・ガイドを参照してください。

Open Oracle Enterprise Data Quality for Product Data...

Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Launch Pad を開始します。

Change Password

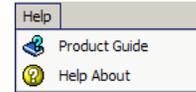
Enterprise DQ for Product のパスワードを変更できます。



「Help」メニュー

Product Guide

ブラウザで選択できる Enterprise DQ for Product ドキュメントのリストが開きます。



Help About

バージョン番号や、サード・パーティ製品ライセンス表示へのリンクなど、製品に関する情報が表示されます。

タブ

タブは、同種の情報の読取りとアクセスが簡単にできるように、グラフ、ペイン、テキスト入力ボックスがグループ化された領域です。次のように、タブはツールバーのすぐ下のクライアント・ワークスペースに表示されます。

「Users」タブ

「Users」タブは、アクティブなタスクのあるすべてのユーザーとアクティブなタスクの概要を提供します。

「Tasks」タブ

「Tasks」タブは、ユーザーに表示権限のあるすべてのタスクの概要を提供します。

タスク・ペイン

Task Manager には次のような3つのタスク・ペインがあり、そのうちの2つは対話形式です。

User

タスクを割り当てられているユーザーがアルファベット順に一覧表示されます。このタスク・ペインは「User」タブにのみ表示されます。

Task

すべてのタスクが数字順に表示され、最初のタスクがデフォルトで選択されます。

Task Detail

説明、ステータス、割当てユーザー、タスクの詳細、履歴など、選択されているタスクの詳細が表示されます。このペインは対話形式ではありません。

「Users」タブでは、左側のペイン間の小さい上下矢印で、ペインのサイズを変更できます。さらに、矢印をクリックするとペインを完全に展開して詳細なデータを表示できます。ペインは非アクティブになります。非アクティブなペインを再び表示するには、反対向きの矢印をクリックするとペインが再表示されます。

Task Manager の対話形式ペインでデータを右クリックすると、様々なコンテキスト対応の(ショートカット)メニューが表示されます。これらのメニューの内容は次のとおりです。

「User」ペインでアクティブ:



Refresh Users

タスクが割り当てられているユーザーのリストを更新し、タスクのある新規ユーザーが表示されるようにします。

「Task」 ペインでアクティブ。これまでに説明されていない機能は次のとおりです。

Download Attachments

選択したタスクの添付ファイルをローカル・コンピュータにダウンロードします。

Email User

デフォルトの電子メール・プログラムを使用して、選択したタスクが割り当てられているユーザーに自由形式の電子メールを送信します。

	Change Task Status	s
	Create Task	t
	Download Attachments	d
@	Email TMUser	e
	View Open Tasks	o
	View Fixed Tasks	f
	View Rejected Tasks	r
	View Closed Tasks	c
	View Deleted Tasks	d
	View Unclosed/Undeleted Tasks	n
	View All Tasks	a

Task Manager の管理のセットアップ

この章では、Task Manager の様々な管理構成について説明します。

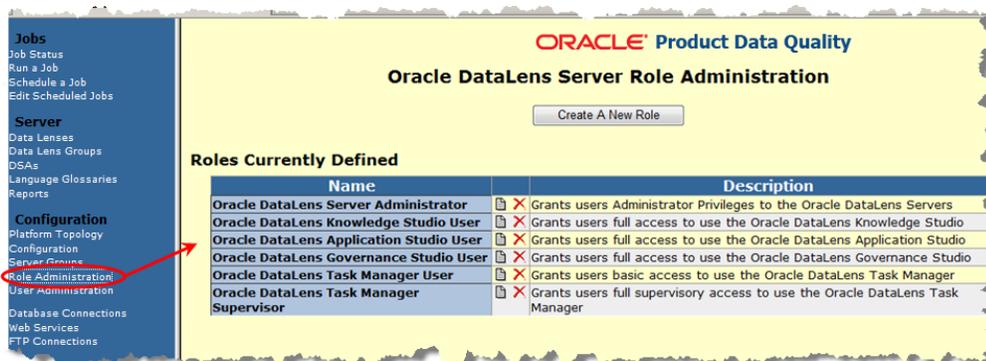
ロールの管理

Task Manager をアクティブにした後、Oracle DataLens Administration の Web ページから行います。Task Manager (TM) ユーザーと Task Manager スーパーバイザの2つのロールがデフォルトで作成されます。

次の表に、2つのロールのデフォルト機能を示します。

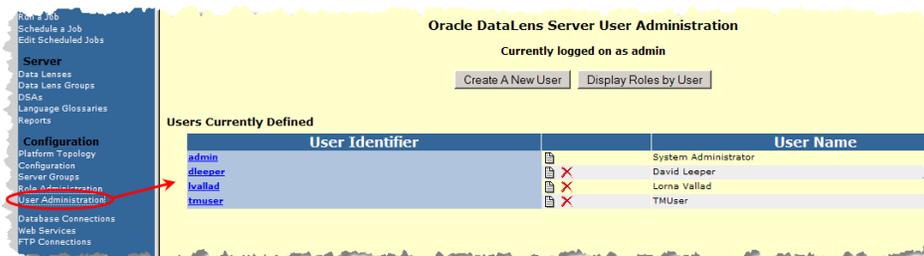
ロール	TM の実行	タスクの追加	自分のタスクのステータス変更	すべてのタスクのステータス変更	タスクの終了	タスクの削除
TM ユーザー	P	P	P			
TM スーパーバイザ	P	P	P	P	P	P

2つの Task Manager ロールを含むすべてのロールは、DataLens Server Role Administration Web ページで「**Role Administration**」リンクをクリックして表示できます。



新規ユーザーの管理

新しい Task Manager ユーザーは、Oracle DataLens Server Role Administration Web ページで「User Administration」リンクをクリックして追加できます。



新しいユーザーを追加するには、「Create A New User」ボタンをクリックします。次のような「Add a new User」ページが表示されます。

Add a new User

User ID:

User Name:

Password:

Password Again:

email:

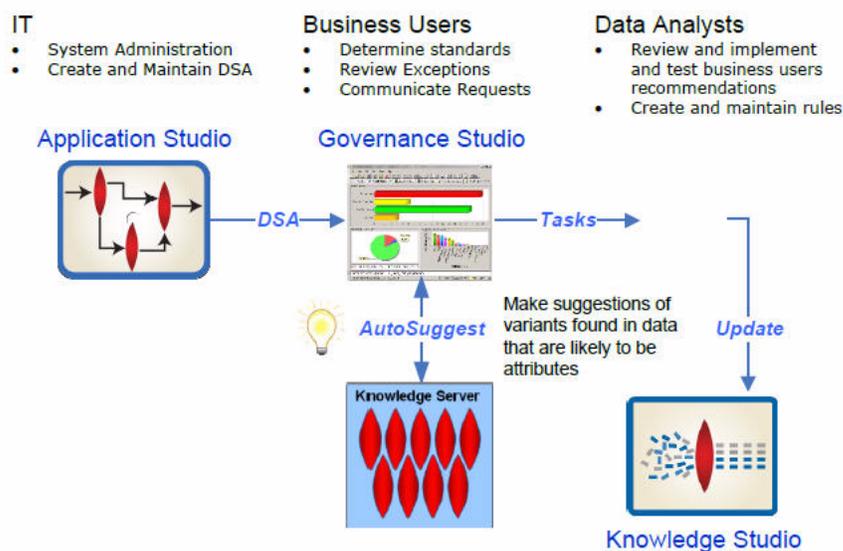
Role Information

- Oracle DataLens Server Administrator (Grants users Administrator Privileges to the Oracle DataLens Servers)
- Oracle DataLens Knowledge Studio User (Grants users full access to use the Oracle DataLens Knowledge Studio)
- Oracle DataLens Application Studio User (Grants users full access to use the Oracle DataLens Application Studio)
- Oracle DataLens Governance Studio User (Grants users full access to use the Oracle DataLens Governance Studio)
- Oracle DataLens Task Manager User (Grants users basic access to use the Oracle DataLens Task Manager)
- Oracle DataLens Task Manager Supervisor (Grants users full supervisory access to use the Oracle DataLens Task Manager)

このページを使用して、新しいユーザーの ID、名前、パスワード、電子メール・アドレスを入力します。次に、ユーザーが Enterprise DQ for Product を効果的に使用するためのすべてのロールを選択し、「SUBMIT」をクリックしてユーザーを追加します。すぐにユーザーが追加されて、使用できる状態になります。

タスクの作成

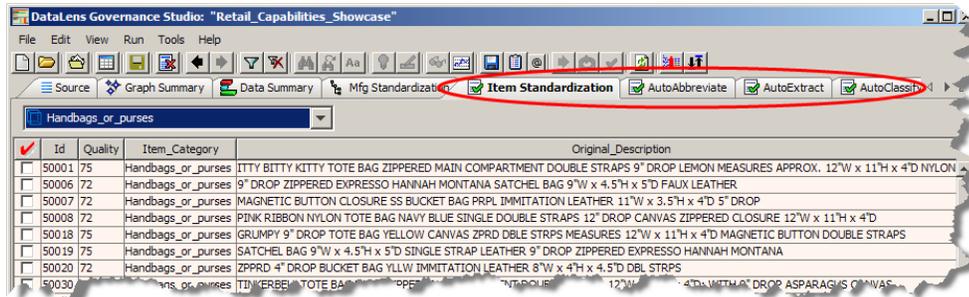
Governance Studio は、本番環境または開発環境に現在デプロイされているデータ・レンズを使用して、DSA ジョブを実行します。DSA の結果として、Governance Studio の様々な出力タブにアクション可能な項目のセットが表示されます。ビジネス・ユーザーは、結果を検討し、結果に関する決定を行って、以降の処理のために一部またはすべての出力を準備します。タスクは、Governance Studio で作成し、その後 Task Manager で管理できます。



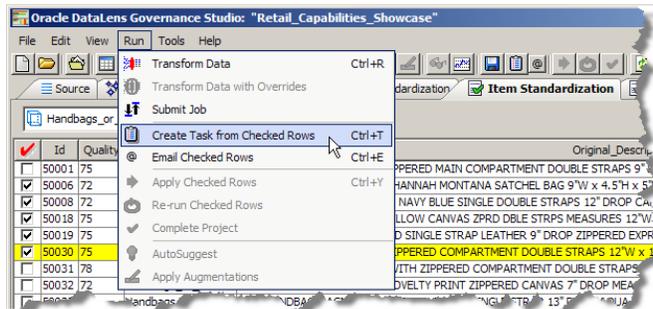
Governance Studio アプリケーションの使用の詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Governance Studio リファレンス・ガイドを参照してください。このドキュメントでは、Task Manager の管理と処理における Governance Studio の例を示します。

出カタブでのタスクの作成

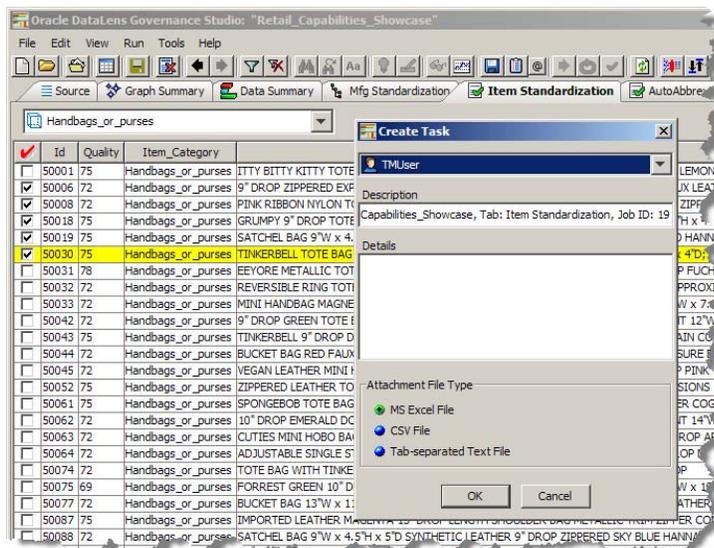
Governance Studio では、「Review」、「Approve」および「Route」出カタブは、タブの名前の横に表示される緑のチェックマーク・アイコンで示されます。これらのタブには、DSA 出力ステップに対応する出力データが表形式で含まれます。



これらのタブのデータは、ファイルへの出力として選択したり、Governance Studio の別のタブへの出力として選択したり、編集、電子メール送信、または同期ジョブへの入力としての実行などができます。次の図は、「Review」、「Approve」および「Route」タブで1つ以上の行を選択して行うタスクの作成を示しています。



「Create Task from Check Rows」オプションを選択すると、次のような「Create Task」ダイアログ・ボックスが表示されます。



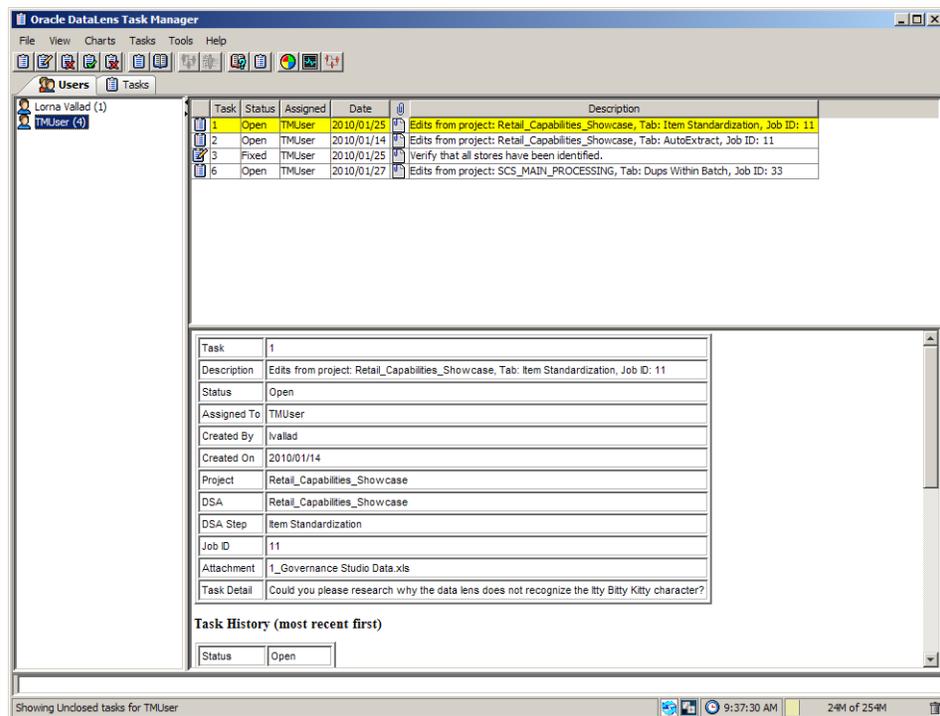
注意： DSA、DSA ステップ、およびデータ・レンズがすでにわかっている
ので、この「**Create Task**」ダイアログ・ボックスは、「**Task Manager**」でのタ
スクの作成」で説明されているダイアログ・ボックスとは大きく異なってい
ます。

このダイアログ・ボックスでは、次のように、タスクを作成してユーザーに割り当てること
ができます。

1. タスクを割り当てるユーザーを選択します。
2. すべてのタスク・リストに表示するタスクの説明を入力します。
3. 割り当てられたユーザーがタスクを完了するために行う必要があることを入力します。こ
れは必須であり、これを指定しないとタスクを追加できません。
4. 選択した行の内容の出力ファイル形式を、Microsoft Excel スプレッドシート、CSV または
タブ区切りテキスト・ファイルから選択します。
5. 「OK」をクリックします。

タスクが追加され、割り当てられたユーザーに、完了するタスクがあることを伝える電子メー
ルが送信されます。

次の例のように、すべてのタスクがユーザーごとに分類されて表示されます。

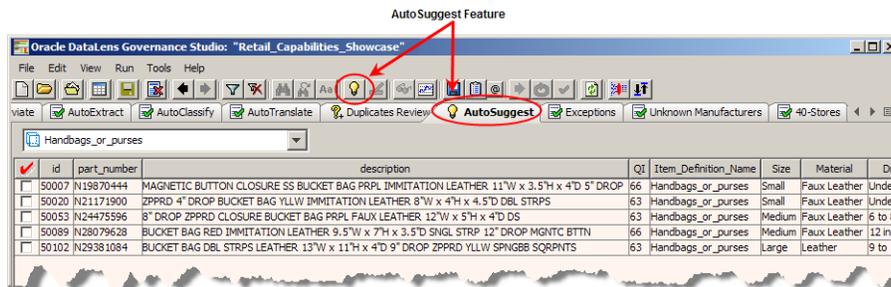


「AutoSuggest」 タブからのタスクの作成

タスクを追加する方法の1つとして、AutoSuggest 機能を使用して、スペルミスまたは略語により欠落している可能性のある属性を Governance Studio で自動的に推奨する方法があります。AutoSuggest プロセスから推奨されたデータをさらに処理するために出力タブに転送したり、データを電子メールまたはタスクとしてデータ・アナリストに送信して Knowledge Studio でデータ・レンズを更新してもらうことができます。ここでは、Task Manager での処理に AutoSuggest の結果を使用する方法を説明します。

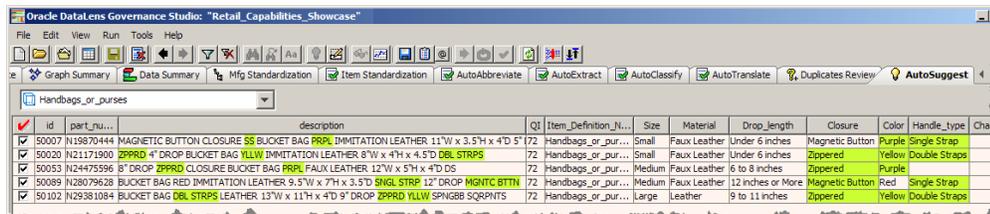
AutoSuggest プロセスの典型的な例は、一部の属性が存在しないために品質指標のしきい値を満たさなかった例外のセットがビジネス・ユーザーに示される例です。

Governance Studio で AutoSuggest 機能を使用して Enterprise DQ for Product を利用し、既知の用語のバリエーションに基づいて一連の推奨を提供できます。



「AutoSuggest」タブは、タブ名の左の電球アイコンで示されています。これらのタブのデータは、スペルミスや略称または構文の不備が原因で欠落している可能性のある属性を自動的に予測する Governance Studio AutoSuggest 機能にアクセスできます。このタブが設定されると、使用できる推奨がある場合、「AutoSuggest」ボタンがアクティブになります。推奨が見つからなかった場合は、このボタンはアクティブになりません。

「AutoSuggest」タブをクリックすると、DSA の対応する出力ステップによって出力に指定されたデータの行のリストも表示されます。推奨を表示するには、メニュー・バーの「AutoSuggest」ボタンをクリックします。次の図に示すように、推奨が緑色で表示されるようになります。



AutoSuggest 機能の詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Governance Studio のリファレンス・ガイドを参照してください。

ダブルクリックによるデータの編集

いずれかの出力表のセルをダブルクリックすると、そのセルを編集できます。ダブルクリックすると、テキスト挿入カーソルが表示され、セルの背景が白に変わります。

ダブルクリックによる選択の切替え

「AutoSuggest」表で推奨をダブルクリックすると、推奨が無効になり、色がピンクに変わります。再びダブルクリックして推奨を再び有効にすると、色が緑に戻ります。このようにして、保持する推奨と破棄する推奨を選択できます。

ソースへの移動

セルを右クリックするとセルの色が変わり、コンテキスト対応のメニューが表示されます。「Jump to Source」オプションを選択すると、「Source」タブの対応する行に自動的に移動します。

セルのコピー

セルを右クリックし、コンテキスト対応メニューから「Copy Cell」オプションを選択すると、セルの内容がクリップボードにコピーされます。

選択した行からのタスクの作成

1つ以上の行を選択して、データ・アナリストがデータ・レンズを更新するタスクを作成できます。次の図では、「description」にある緑で色付けされた用語と、右側の属性列にある関連する推奨が示されています。

id	part_nu...	description	Item_Definition_N...	Size	Material	Drop_length	Closure	Color	Handle_Type	Char
50007	N19870444	MAGNETIC BUTTON CLOSURE SS BUCKET BAG PRPL IMITATION LEATHER 11"W x 3.5"H x 4"D 5"	Handbags_or_pur...	Small	Faux Leather	Under 6 inches	Magnetic Button	Purple	Single Strap	
50020	N21171900	ZPPRD 4" DROP BUCKET BAG YLLW IMITATION LEATHER 8"W x 4"H x 4.5"D DEL STRPS	Handbags_or_pur...	Small	Faux Leather	Under 6 inches	Zippered	Yellow	Double Straps	
50053	N24475596	8" DROP ZPPRD CLOSURE BUCKET BAG PRPL FAUX LEATHER 12"W x 5"H x 4"D DS	Handbags_or_pur...	Medium	Faux Leather	6 to 8 inches	Zippered	Purple		
50089	N28079628	BUCKET BAG RED IMITATION LEATHER 9.5"W x 7"H x 3.5"D SNGL STRP 12" DROP MAGNETIC BTM	Handbags_or_pur...	Medium	Faux Leather	12 inches or More	Magnetic Button	Red	Single Strap	
50102	N29381084	BUCKET BAG DEL STRPS LEATHER 13"W x 11"H x 4"D 9" DROP ZPPRD YLLW SPNGSB SQRPHTS	Handbags_or_pur...	Large	Leather	9 to 11 inches	Zippered	Yellow	Double Straps	

これを行うには、タスクに含める行を選択します。メニューから「Run」を選択し、次に「Create Task from Checked Rows」をクリックします。

Create Task

TMUser

Description
Retail_Capabilities_Showcase, Tab: AutoSuggest, Job ID: 19

Details

Attachment File Type

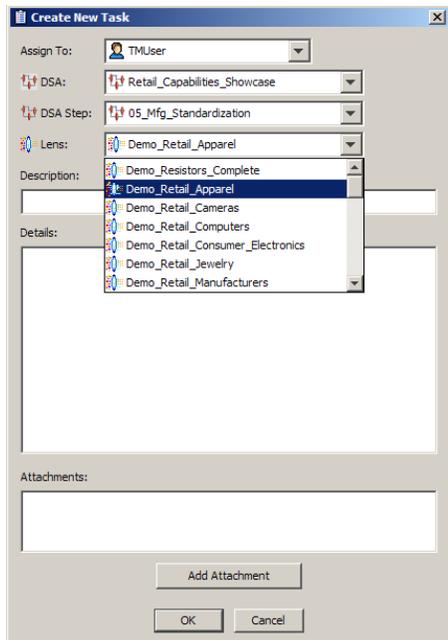
- MS Excel File
- CSV File
- Tab-separated Text File

OK Cancel

「Description」フィールドには DSA の名前、タブ名、および関連付けられているジョブ ID が自動的に設定され、3-2 ページの「出力タブでのタスクの作成」で説明されているように、このダイアログ・ボックスの設定は完了です。

Task Manager でのタスクの作成

ユーザーが実行する新しいタスクを Task Manager 内から作成できます。この方法は、各 DSA を個別に開くことなく、使用可能な DSA、その各ステップ、データ・レンズをすべて表示する場合に特に便利です。タスクを作成するには、メニュー・バーから「Tasks」を選択し、「Create New Task」をクリックします。



このダイアログを次のように完了します。

タスクを割り当てるユーザーを選択します。

DSA を選択します。「DSA Step」および「Lens」ドロップダウン・リストが、選択した DSA に基づく対応する選択で自動的に設定されます。

DSA ステップとデータ・レンズを選択します。

すべてのタスク・リストに表示するタスクの説明を入力します。

割り当てられたユーザーがタスクを完了するために行う必要のあることを入力します。これは必須であり、これを指定しないとタスクを追加できません。

タスクの詳細には、実施するステップ、タスクの目的の概要、タスクの実行に関するその他の情報を含めることができます。

必要に応じて、「Add Attachment」ボタンを使用してタスクに関係するサポート・ファイルを追加できます。対象のファイルを探し、選択して、「Attach」をクリックします。[Ctrl] または [Shift] キーを使用して、同時に複数のファイルを追加できます。ファイルの種類が異なってもかまいません。

「OK」をクリックしてタスクを追加します。

タスクが Task Manager に追加されます。そのことを警告する次のような電子メールが、割り当てられているユーザーに送信されます。

```
Task: 0
Description: Edits from project: Retail_Capabilities_Showcase, Tab: AutoExtract, Job
ID: 11
Status: Open
Assigned To: TMUser
Created By : TMUser
Created On :
```

DSA: Retail_Capabilities_Showcase

DSA Step: Item Standardization

Data Lens: Demo_Retail_Apparel

Task Detail:

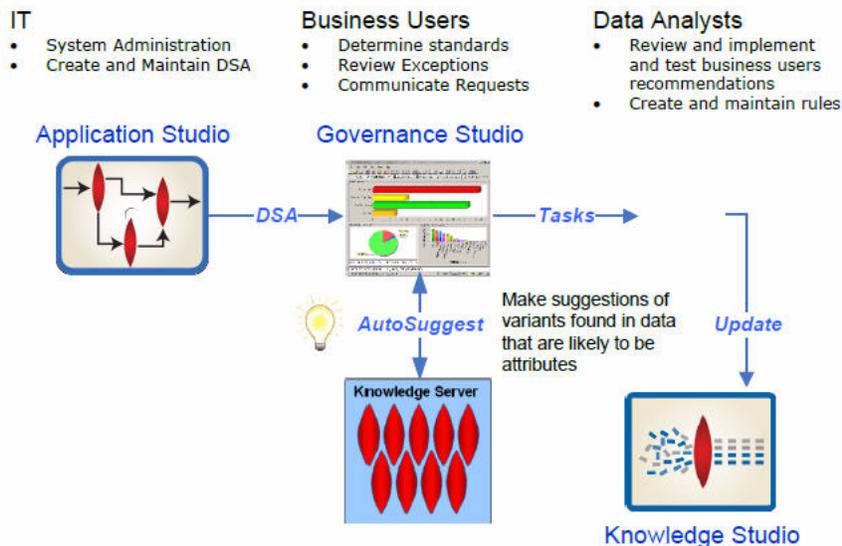
Please see why the data lens does not recognize the Itty Bitty Kitty character?

タスクの管理と処理

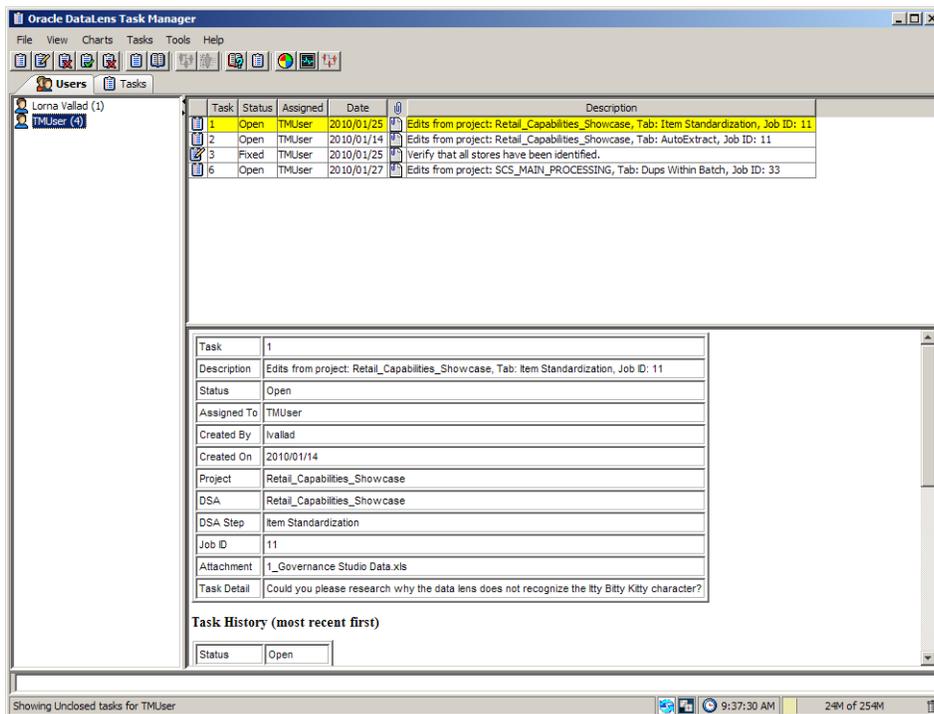
この章では、Task Manager でタスクを管理し、Knowledge Studio でタスクを処理する方法を説明します。

タスクの管理

Task Manager の主な機能は、ユーザーとタスクを表示し、使用可能なすべてのタスク・データをグラフ化し、タスクの進行状況を監視することです。



次の図のように、データ・アナリストは Task Manager を開いて、オープンしているタスクと完了済のタスクをすべてレビューします。



この例では、Governance Studio タスク作成ステップでタスク 1、ジョブ ID 11 が作成され、ソース入力のバリエーションを認識するように AutoSuggest のバリエーションをデータ・レンズに追加するようにデータ・アナリスト (TMUser) に要求しています。

タスクの表示

Task Manager を開くと、すべてのタスクが表示され、デフォルトの「Users」タブでユーザー別に分類されます。

タスクの表示方法は、「View」メニューの選択を使用して変更できます。このメニューの選択によって、タスクはステータス別に分けられ、表示選択に一致するタスクのみが表示されます。たとえば、「View Closed Tasks」を選択すると、クローズされたタスクのみが表示されます。

注意： Task Manager ユーザーのデフォルトでは、ユーザーが変更できるのは自分のタスクだけですが、表示は他のユーザーに割り当てられているタスクでも可能です。

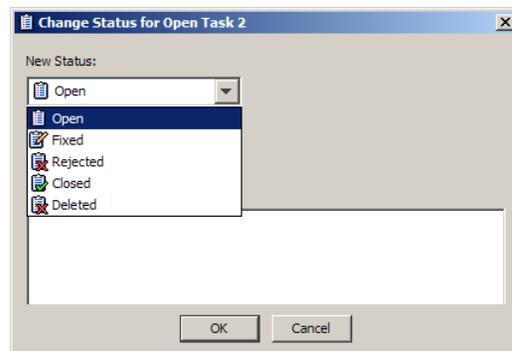
タスクに対するアクションを行うために、添付ファイルおよびコメントをレビューできます。タスクをレビューしてアクションを完了した後、ステータスをオープン以外に変更してタスクを完了できます。

タスクのステータスの変更

クローズ済や削除済も含め、すべてのタスクのステータスを変更できます。ステータスの選択は、オープン、修正済、破棄済、クローズ済、削除済です。オープン以外のすべてのステータスに対して条件を作成し、Task Manager ユーザー間で標準化することをお勧めします。

タスクのステータスを変更するには、「Users」または「Tasks」タブでタスクを選択し、右クリックして「Change Task Status」を選択します。

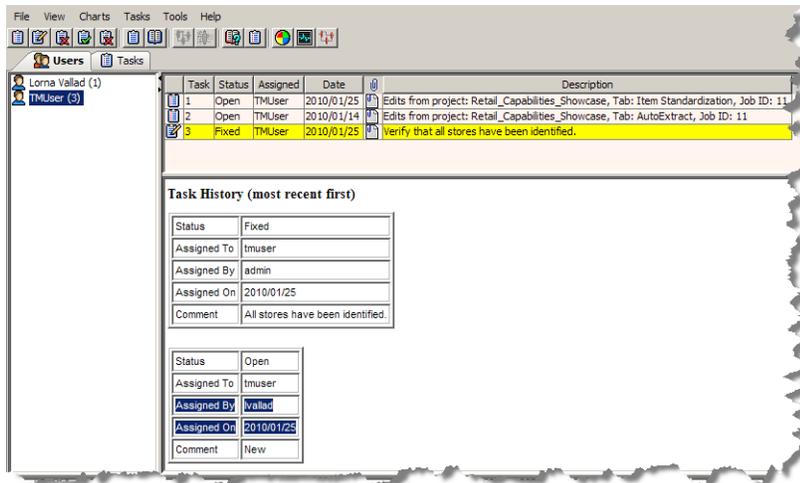
ヒント： 変更するタスクがリストに表示されない場合は、「View」メニューで表示を「View All Tasks」に変更します。



新しいステータスを選択するか、タスクを再度割り当てます。ステータスの変更に関するコメントを入力する必要があります。「OK」をクリックすると、タスクの変更が即時に反映されます。

注意： 自分が作成したものではないタスクは、ステータスを変更する権限を持っているか、TMUser としてログインする必要があります。

すべてのタスクには、アクションを実行したユーザーを含むタスクに対するすべての変更の詳細についての完全なステータス履歴があります。タスクの履歴は、メイン・タスク情報ペインに、最新のものを先頭とする時間順に表示されます。次はその例です。



タスクの添付ファイルの確認

タスクを選択し、右クリックして「Download Attachments」を選択することで、添付ファイルをダウンロードして要求された変更を確認できます。添付ファイルのコピー先のディレクトリの指定を求められます。タスクのすべての添付ファイルが選択したディレクトリにコピーされます。

これは Governance Studio の AutoSuggest 機能を使用して作成されたスプレッドシートの場合に便利です。たとえば、添付された Excel スプレッドシートをダウンロードして開いた場合、AutoSuggest によって作成された行を確認できます。次の図では、行の左のセクションにデータ・レンズ名と色分けされたバリエーションが表示されています（スプレッドシートは通常の色になっています）。

	A	B	C	D
1	Lens	id	part_number	description
2	Demo_Retail_Apparel	50007	N19870444	MAGNETIC BUTTON CLOSURE SS BUCKET BAG PRPL IMITATION LEATHER 11"W x 3.5"H x 4"D 5" DROP

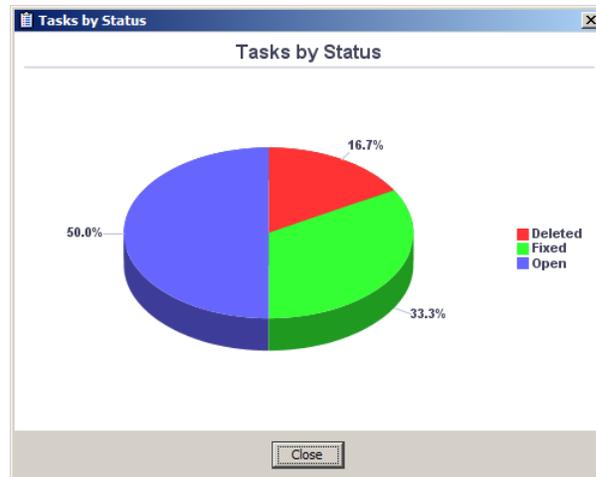
次の図では、行の右のセクションに色付けされた推奨が表示されています。完全なフォームの用語と推奨された単語がある属性名と属性テキストには「(suggested)」と表示されます。

M	N	U	P	R	S	T	
Att_4_Name	Att_4_Text	Att_5_Name	Att_5_Text	Att_6_Name	Att_6_Text	Att_7_Name	Att_7_Text
Closure	Magnetic Button	Color	Purple (suggested)	Handle type	Single Strap (suggested)	Characters	

ここでデータ・アナリストが推奨された変更に同意すると、変更が Knowledge Studio に反映されます。

タスクのグラフ化

「Charts」メニューを使用して、様々な方法でタスクを生成してレビューできます。タスクのステータス、ユーザー、DSA、データ・レンズ別のグラフではすべて、選択に関連するタスクの数を示す円グラフが生成されます。たとえば、次はすべてのタスクのステータス別のグラフです。

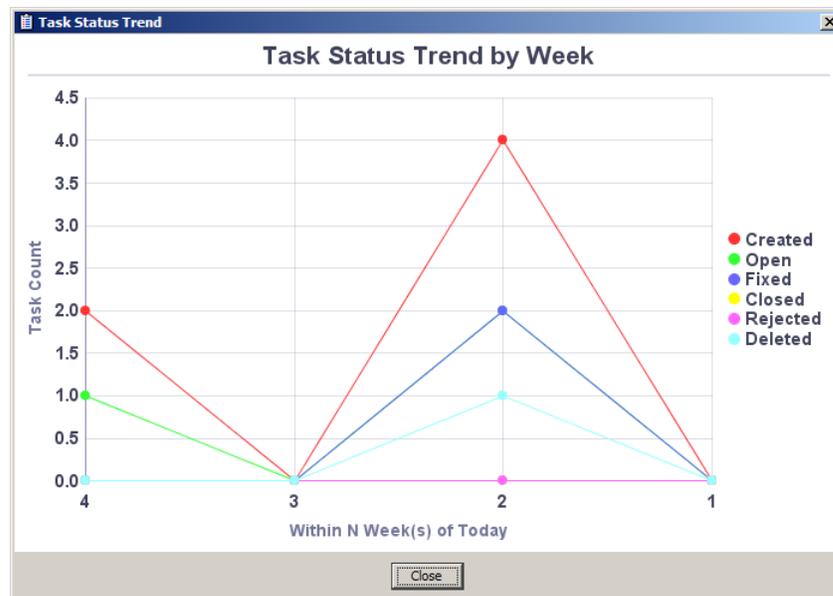


傾向別のグラフ作成

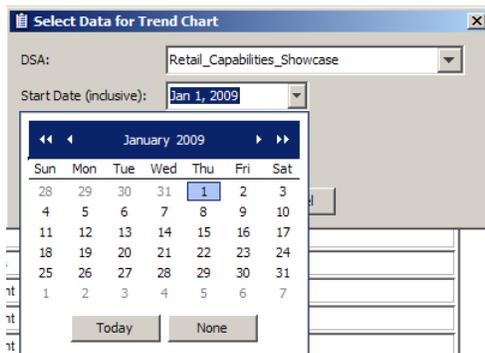
さらに、傾向分析を使用してタスクをグラフ化できます。

注意： グラフ作成オプションは、Application Studio で DSA の出力ステップの傾向分析オプションが選択されている場合にのみ有効です。このオプションの設定の詳細は、Oracle Enterprise Data Quality for Product Data Application Studio リファレンス・ガイドを参照してください。

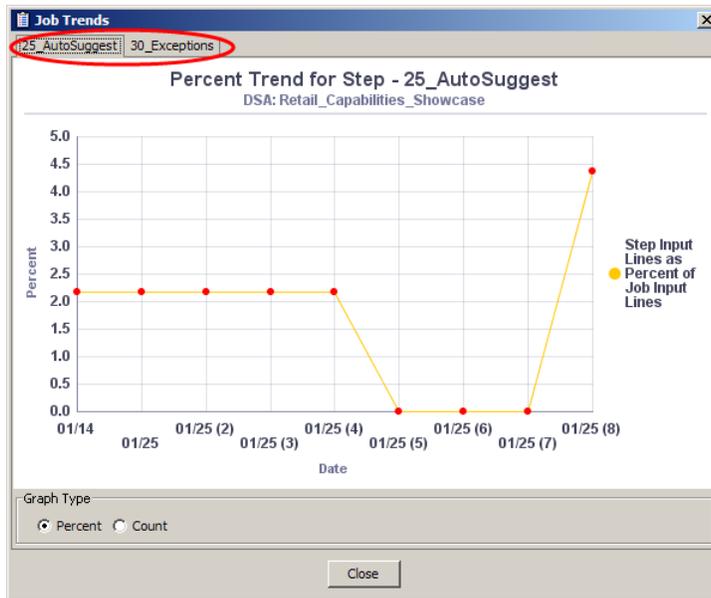
次の図は、今日以前の N 週間のタスクの傾向を示します。



「**DSA Job Trend**」を選択することで、実行が成功したすべての DSA ジョブを使用してグラフを作成することもできます。



分析する DSA と開始日および終了日を選択し、「**OK**」をクリックします。次のようなグラフが生成されます。

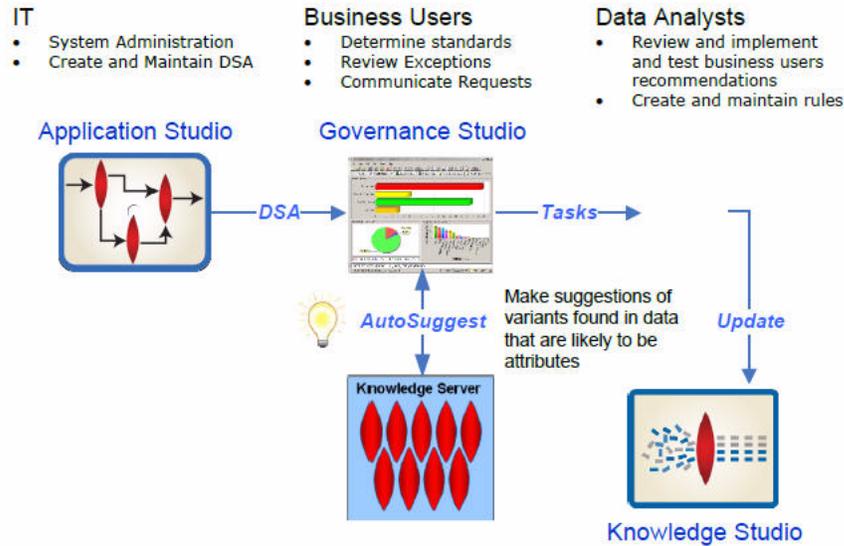


例の DSA には傾向分析用に 2 つの出力ステップが構成されていて、それぞれに対するタブが作成され、データを個別にレビューできます。データの表示は、ジョブのステップの入力行数の割合から、単にステップ入力行数に変更できます。

すべてのグラフは、グラフを右クリックしてファイルの種類を選択することで、PNG または JPG ファイルに保存できます。

Knowledge Studio の処理

タスクの結果として要求された変更をレビューし、正しさを検証した後、データ・アナリストはデータ・レンズを更新し、Knowledge Studio を使用してそれを Enterprise DQ for Product に適用します。

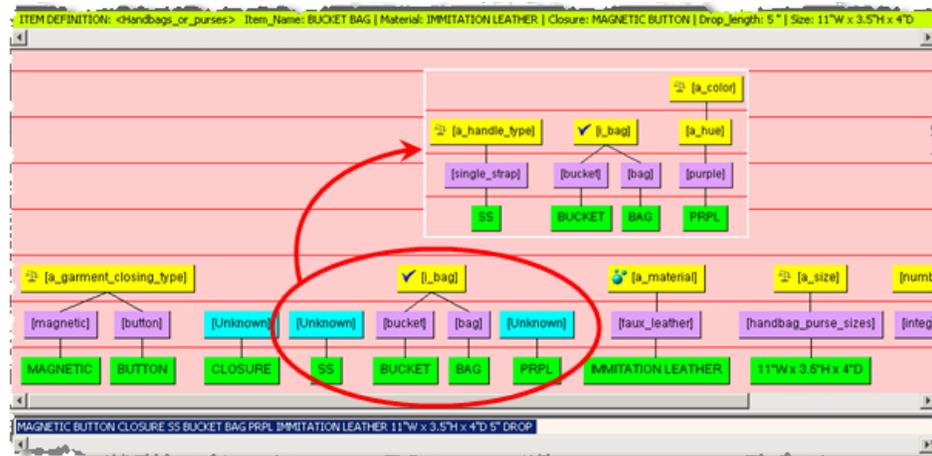


たとえば、次の表はアパレルのデータ・レンズに対して要求された変更の概要です。

品目定義	属性	フレーズ	用語	テキスト (バリエント)
Handbags_or_purses	Color	[a_color]	[purple]	PRPL
Handbags_or_purses	Handle_type	[a_handle_type]	[single_strap]	SS

タスクによって示される変更のプロセスは、Knowledge Studio での該当するデータ・レンズのオープン、変更の反映、保存、および Governance Studio での使用のための変更済データ・レンズのデプロイです。

この例では、バリエントを含む完全な説明を入力することも、バリエントの個別のテキストをデータ・レンズで更新することもできます。次の図は、欠落したデータのあるデータ・レンズと、データ・レンズに入力された完全な説明を示しています。



クライアント・ソフトウェアのインストール

Enterprise DQ for Product は、Java Web Start を使用して、クライアント・デスクトップにソフトウェアの最新バージョンを初期インストールして保守します。このプロセスでは、Oracle DataLens Server にアクセスし、接続を開始してソフトウェアをダウンロードする必要があります。

Oracle DataLens Server のインストール・ページを参照し、Java Web Start を使用して Enterprise DQ for Product クライアント・アプリケーションをダウンロードおよびインストールするには、次の手順を使用します。

1. Microsoft Internet Explorer を使用して、サーバーに応じた次のどちらかの URL を参照してください。

注意： アプリケーション・サーバーに 2229 以外のポート番号を設定している場合は、クライアント・アプリケーションをダウンロードするために Oracle DataLens Server を参照するときに、次の URL でそのポート番号を使用する必要があります。

32 ビット

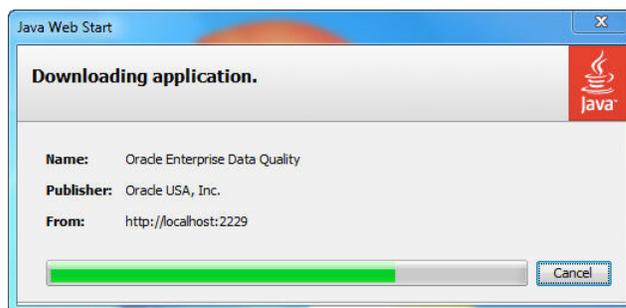
<http://<server>:2229/datalens/datalens.html>

64 ビット

<http://<server>:2229/datalens/datalens64.html>

<server> は、Oracle DataLens Server のホスト名です。

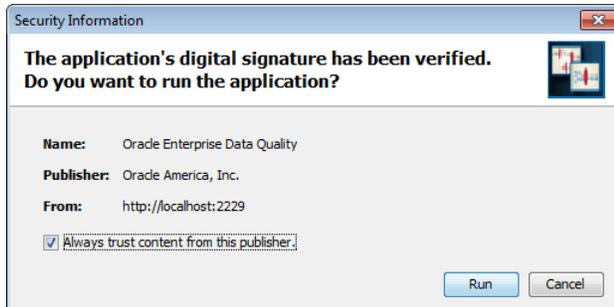
アプリケーションのダウンロードとインストールが開始します。インストール先のマシンにサポートされる Java 環境がない場合、Java Web Start プログラムは自動的にユーザーを Java ダウンロード・サイトにリダイレクトし、Java Runtime のインストールを開始します。



2. 先行する Java Web Start のメッセージが表示されない場合は、次の場所を参照して接続を開始し、ソフトウェアをダウンロードする必要があります。

<http://<server>:2229/datalens/datalens.jnlp>

Enterprise DQ for Product のファイルは信頼できるソースによってデジタル署名されているので、次のセキュリティ警告が表示されます。



3. 今後セキュリティ・ダイアログが表示されないようにするには、「**Always trust content from this publisher**」チェック・ボックスを選択します。
4. 「**Run**」をクリックして続行し、インストールを完了します。

Enterprise DQ for Product のログオン・ダイアログが表示されます。

